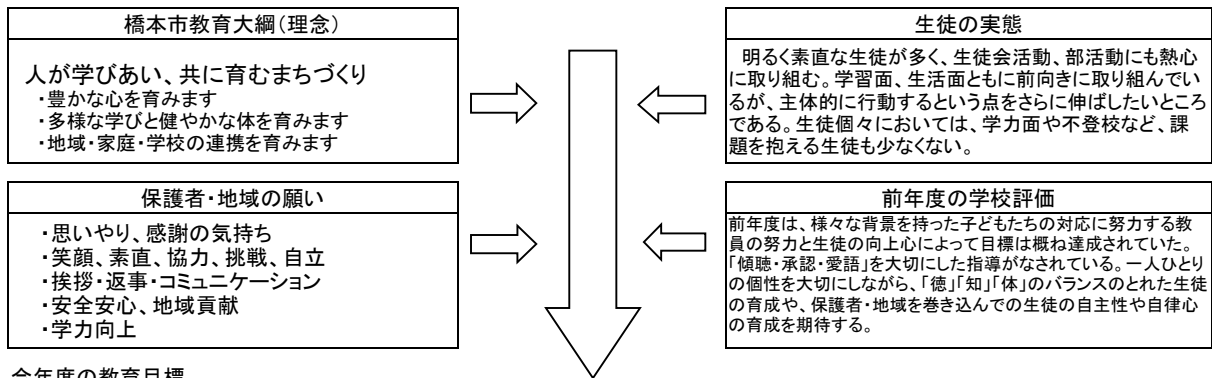


令和7年度 橋本市立紀見東中学校スクールプラン



今年度の教育目標

学び合い、認め合い、高め合う生徒の育成

めざす生徒像

- ☆「徳」「知」「体」のバランスのとれた生徒
- ・自己肯定感を持つとともに、思いやりのある素直な生徒
 - ・進んで挨拶でき、礼儀をわきまえ、正しい判断力と自律心を備えた生徒
 - ・主体的に学び、努力する生徒
 - ・粘り強く最後までやり抜く、心身ともに健康でたくましい生徒
 - ・地域社会の一員として、学校や地域に誇りをもち、社会貢献できる生徒

重 点 目 標	具体的方策	評 価 指 標
豊かな心の育成 ・特別活動の充実 ・人権教育の充実 ・道徳教育の充実 ・態度教育の推進	・目指す子どもの姿を描き、活動の目的・つきたい力を明確にした学級活動・生徒会活動・学校行事を精選・研磨し充実させる。 ・一人ひとりが大切にされていると実感でき、互いを尊重する人権感覚を養う。 ・考え、議論する道徳授業の実践を計画的に取り組む。 ・あいさつや返事、時と場に応じた適切な言葉遣いや態度を養う。	・学校に行くのが楽しい(生徒・保護者の肯定的な割合85%) ・人権を尊重する意識の育成(生徒・保護者の肯定的な割合85%) ・道徳実践力の育成に努める。 ・態度教育5項目[挨拶・返事・履物そろえ・姿勢・食事マナー]の実践(生徒の実施90%)
確かな学力の向上 ・基礎・基本の定着 ・指導方法の工夫改善と学習意欲の向上 ・キャリア教育の推進 ・読書活動の推進	・「MYタイム、Myノート」の活用、「確認小テスト」「単元テスト」を適宜実施し、振り返り学習とスモールステップによる家庭学習習慣を確立と学力の定着を図る。 ・生徒会による「礼儀・協力・挑戦」を学習活動においても掲げ、主体的に学習に取り組む意欲の向上を図る。 ・基礎・基本の定着を目指し、TTによる効果的な指導やユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりを実践する。 ・教育活動においてキャリア教育の視点を持ち、将来の生き方・働き方について体験をととして理解を深めさせ、進路の選択、決定へと導く。 ・図書室を活用する等、本に親しむ姿勢の推進に努める。	・学校の授業時間以外の学習時間の増加(1時間以上が70%) ・生徒会、専門部の活動を工夫し、見える化する。 ・授業はわかりやすい(生徒の肯定的な割合80%) ・将来の進路や生き方について考える機会を増加(生徒の肯定的な割合80%) ・読書活動に取り組む生徒の増加(昨年度と同程度)
健やかな体の育成と生徒指導の充実 ・体力の向上 ・基本的生活習慣の定着 ・生徒指導の充実 ・安全教育の推進	・「体力向上プラン」を活用し、楽しく運動に取り組める実践を行う。 ・「MYタイム」を活用して家庭における時間管理を推進し、規則正しく節度ある生活習慣の定着を図る。 ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。 ・全職員の共通理解と指導体制の確立をととして、生徒によりそい支援を行う。 ・予防的見地からの危機管理の徹底に取り組む。	・新体力テストの総合評価でD・Eの割合が10%未満 ・テレビやゲーム、インターネット使用時間の減少(それぞれ1時間未満が40%) ・いじめに関するアンケートを年間複数回実施する。 ・学校生活における生徒指導の進め方(生徒・保護者の肯定的な割合80%) ・リスクマネジメントによる安全な環境づくりに努める。
地域に開かれた学校 ・コミュニティスクールの充実 ・共育コミュニティの推進 ・学校の情報発信 ・防災教育の推進	・課題解決に向けた学校運営協議会の活動の充実に努める。 ・紀見東中学校区の目指す児童生徒像の共有と実現のための共育コミュニティ事業等を推進する。 ・各種通信、HPを利用し、積極的に学校の情報を家庭・地域に発信する。 ・災害に備えて実践的な防災教育の取組を推進する。	・年3回学校運営協議会を開催し、学校の現状、課題の把握と改善、解決にむけた協力体制を整える。 ・共育コミュニティ本部会議をととして、共通理解・連携を深める。 ・学校からの教育方針・教育活動の発信(保護者の肯定的な割合85%) ・防災学習の実施。